



2016年

定時社員

総会・理事会

第7期

2015年4月1日～2016年3月31日

日 時: 2016年5月28日(土)

会 場: 大阪キャッスルホテル

一般社団法人日本ドラゴンボート協会

2016年 一般社団法人日本ドラゴンボート協会
理事会・定時社員総会

○日 時 2016年5月28日(土) 午前10時から理事会、午後2時から総会

○場 所 大阪キャッスルホテル(大阪府大阪市中央区天満橋京町 1-1)

【理事会】10:00-12:45 ※理事会、議案は過半数で成立

【定時社員総会】14:00-16:30

※総会は過半数で成立。議案は過半数で成立。

■対象者96人(理事12人、終身会員12人、団体・都道府県協会72人)

□出席・委任者:計67人(理事12人、終身12人、団体・都道府県協会、11人、
団体・都道府県協会委任32人)

(進行スケジュール)

☆JDBA 定款第12条「社員総会の議長は、理事長がこれに当たる」

第1号議案

2015年度事業報告(議長、国際委員長)

2)2015年度決算報告(事務局)

第3号議案

3)2015年会計報告・会計監査、業務監査報告(壇税理士、西川公認会計士監査、中村監査)

第4号議案

4-1)理事・専門委員長の選任(議長)

第5号議案

5-1)2016年度予算(事務局)

5-2)2016年度事業計画・日程(議長)

第6号議案

6)2015年各専門委員会報告と2016年度方針(各専門委員会委員長)

第7号議案

7)その他報告事項

7-1)ハイスピードカメラ寄付者(事務局)

7-2)競技ルール改訂の変更点(競技委員長)

7-3)2017年第13回IDBF世界ドラゴンボート選手権のポイントについて(競技委員長)

7-4)2016年第12回ADBFAアジアドラゴンボート選手権派遣チームについて(競技委員長)

7-5)日本代表選考会・相生(強化委員長)

7-6)東京・「海の森」の利用について(競技委員長)

その他、質問

【第1号議案1-1】

2015 年度事業報告

櫻井議長、菖蒲副理事長

2015年4月1日～2016年3月末まで

日時	大会名	名義
5/3(日)	いさドラゴンカップ 2015(鹿児島・伊佐市)	後援
5/10(日)	第3回宇治川源平龍舟祭(京都・宇治)市内1位塔の島、2位 EMBLEM JAPAN、3位 チーム賑やかし、市外1位:大阪市立都島工業高校ドラゴンファイターズ、2位 bp、3位:京都工場保健会すいすい丸 プレミアドック	主管
5/17(日)	東京ドラゴンボート 2015(東京)第13回 ADBF アジアドラゴンボート選手権大会 一次選考会 オープン1位 Panang Forward Sports Club、混合1位 関西龍舟シンバ、女子1位 TEAM 河童、シニア1位 FUJIYAMA ALL STARS、スモール1位チーム河	主催
6/21(日)	第5回堺泉北港ドラゴンボート大会(大阪) オープン1位 bp、混合1位関西龍舟シンバ、市内1位ドリーマーズ	後援
7/19(日)	天神祭奉納 2015 日本国際ドラゴンボート選手権大会(大阪・天満橋)オープン:1位 Philippine Army Dragonboat Team、混合:1位 INO-G、シニア:1位 FUJIYAMA ALL STARS、女子:1位 SUPER DOLPHIN、スモール1位 Freuderberg & Vilene Dragonboat Racing Team	主催
8/3(日)	第8回九頭龍ドラゴンボート大会(福井・中角町)1位おかしい☆やつら	主管
8/9(日)	第2回ATCドラゴンボート大会(大阪・南港)1位:bp	主管
8/30(日)	第12回KIX国際交流ドラゴンボート大会(大阪・関空)オープン1位bp、混合1位熊野水軍	主催
8/19-22	第12回IDBF世界ドラゴンボート選手権(カナダ)	
9/6(日)	第3回スモールドラゴンボート日本選手権(滋賀・大津ボートレース場)選手権:オープン1位 bp、混合1位海猿火組、女子1位TEAM河童、シニア1位海猿火組 G、一般オープン1位しげる	主管
9/27(日)	第6回中川運河ドラゴンボート大会(愛知県):1位東海龍舟	
10/8(日)	第8回東大島ドラゴンボート大会:Aトーナメント1位チーム河、Bトーナメント1位市川市役所ボート部とその仲間	
11/15(日)	ザ・コーポレートゲームズ東京 2015 :1位IHI瑞龍丸	

【第1号議案 1-2】 2015年度JDBA 登録チーム(登録順)

櫻井議長

A団体登録チーム:7チーム(昨年8チーム、一昨年9チーム)

① 関西龍舟シンバ(兵庫)	② 東京龍舟(東京)	③ 磯風漕友会(兵庫)
④ bp(大阪)	⑤ FUJIYAMA ALL STARS(東京)	⑥ TEAM河童(大阪)
⑦ SUPER DOLPHIN(兵庫)		

B団体登録チーム:53チーム(昨年 40 チーム、2 年前 43 チーム、3 年前 50 チーム)

① エバーリゾート(神奈川)	② &T(千葉)	③ NRS(東京)
④ 横浜火龍団(神奈川)	⑤ コンティネンタル・ワン(神奈川)	⑥ G Dragons(東京)
⑦ TAITAM DRAGONS(東京)	⑧ Chiyo Row 倶楽部(神奈川)	⑨ 株式会社スタック(神奈川)
⑩ TOKYO DRAGON(東京)	⑪ サーフだったバイザーズ(東京)	⑫ ボン・オヤージ(東京)
⑬ Jungle Mania(千葉)	⑭ INO-G(埼玉)	⑮ IHI 瑞龍丸(東京)
⑯ AL AL Chibas(千葉)	⑰ Jbirds(東京)	⑱ PCT 豊洲(東京)
⑲ 鹿島龍舟部(東京)	⑳ 港南マリーナ漕艇クラブ(東京)	21 Thomson Reuters Markets(東京)
22 チームナスタ(東京)	23 Pirates Of the Rakutenians(東京)	24 打艇龍舟倶楽部(大阪)
25 team ひとつ(大阪)	26 R スポーツマンクラブ(大阪)	27 一寸防止(大阪)
28 bp ジュニア(大阪)	29 チーム未来(大阪)	30 香里ヶ高校 5 期生(大阪)
31 チームどやさっ!(大阪)	32 team 風(大阪)	33 パイレーツ(大阪)
34 関空飛龍(大阪)	35 すきやねん大阪(大阪)	36 近畿車両電龍(大阪)
37 青息吐息(大阪)	38 吹田龍舟倶楽部(大阪)	39 フォーティーズ(大阪)
40 大阪産業大学常翔喜龍(大阪)	41 東海龍舟(愛知)	42 CIC RISING STAR(埼玉)
43 Rowing team 浪速(大阪)	44 Team BANANA(兵庫)	45 坊勢酔龍会(兵庫)
46 ヤンググリーン(兵庫)	47 IHI 相生(兵庫)	48 SUPER DOLPHIN(兵庫)
49 関西龍舟ハーバリアンズ(兵庫)	50 海猿火組(静岡)	51 すいすい丸(京都)
52 池の里 LAKERS(滋賀)	53 琵琶湖ドラゴンボートクラブ(滋賀)	

都道府県協会登録 12 団体

① 福島県ドラゴンボート協会	② 東京都ドラゴンボート協会	③ 千葉県ドラゴンボート協会
④ 静岡ドラゴンボート協会	⑤ 愛知県ドラゴンボート協会	⑥ 福井県・九頭龍ドラゴンボート協会
⑦ 滋賀県ドラゴンボート協会	⑧ 京都府ドラゴンボート協会	⑨ 和歌山県ドラゴンボート協会
⑩ 大阪府ドラゴンボート協会	⑪ 兵庫県ドラゴンボート協会	⑫ 沖縄県ドラゴンボート協会

都道府県別チーム加盟数

県名	2015 年度 60 チーム	2014 年度 48 チーム	2013 年度 52 チーム	2012 年度 58 チーム
福島県	0	1	0	0
埼玉県	2	1	0	1
千葉県	3	1	1	1
東京都	16	10	14	14
神奈川県	5	4	1	3
静岡県	1	0	1	1
愛知県	1	1	1	2
京都府	1	1	1	1
滋賀県	2	2	3	2
大阪府	20	20	22	23
兵庫県	9	7	6	8
和歌山県	0	0	1	2
熊本県	0	0	1	0

【第2号議案】

事務局

2015年度 一般社団法人日本ドラゴンボート協会決算報告(総会承認事項)

(2015年4月1日～2016年3月末まで)

¥15,910,763(総収入)－¥16,131,325(総支出)＋¥1,438,275(繰越金)
 ＝¥1,217,713(通帳残金)

1. 収入の部

収入項目	15年度予算	15年度決算	増 減	内 訳
1. 会費(登録料) (内訳)	1,200,000	1,124,000		
A団体	100,000			A団体8チーム
B団体	400,000			B団体40チーム
個人ほか	700,000			所属協会・A個人
2. 検定料	300,000	275,500		ハドル検定
3. 主管料	800,000	1,349,784		日本選手権、堺泉北 港、スモール選手権、宇 治、ATC 大会
4. ボートレンタル料	0	0		ODBA 2艇
5. JDBA/HP 広告料	1,000,000	918,311		
6. 役員・チーム 寄付金	400,000	460,000		ハイスピードカメラ寄付金
7. 日本選手権 toto トレーニング助 成金	1,600,000	<u>887,000</u>		日本選手権 toto 助成 金
8. 日本選手権 toto 運営費助成	2,000,000	<u>2,520,000</u>		日本選手権大会 (施設費3社分)
9. 日本選手権参 加料・協賛金	8,000,000	<u>8,376,168</u>		レンゴー他
小 計	15,300,000	<u>15,910,763</u>		
前年繰越金	1,206,520	<u>1,438,275</u>		前年繰越金
合 計	16,506,520-	17,349,038-		

※日本選手権関係収入合計は、6+7+8＝11,783,168円

2. 支出の部

支出項目	15 年度予算	15 年度決算	増 減	内 訳
1. 会費	120,000	123,160		IDBF 等会費ほか
2. 交通費	200,000	79,392		役員国内移動費
国内旅費	200,000	79,392		
海外旅費	0	0		
3. 事務所費	1,000,000	1,203,073		HP管理費、税務会計 処理費、税金等
4 通信費・郵券	30,000	39,390		振込手数料
理事長通信費				
海外通信費				
郵券	15,000	39,390		
5. 会場借上げ	80,000	0		キャッスル
6. 消耗品・補修費	50,000	91,679		ドラゴン修理費
7. 会議費・打合せ費	30,000	5,900		JDBA 役員打合
8. 海外大会役員補助	200,000	0		
9. 地方協会分配金	600,000	621,835		東京、大阪、兵庫
10ハイスピードカメラ購入費	1,100,000	1,101,600		36 か月ローン 2014 年 8 月から開始
11新艇保管料	810,000	810,000		5 艇・南港
12ドーピング検査(日本選手権で計上)	1,600,000	0		2014 東京、日本選手権
13寄付金	300,000	0		谷の立替・天満宮
14選手強化費	200,000	193,552		ポロシャツ製作代
15日本選手権大会経費	10,000,000	11,861,744		2015 日本選手権
16予備費	186,520	0		
合計	16,506,520	16,131,325		

【第3号議案】 2015年会計報告・会計監査、業務監査報告
(西川公認会計士会計監査、中村業務監査)

【第3号議案3-1】 (収入・支出報告書)と正味財産増減計算書との調整表

(単位:円)

収入の部 小計	15, 910, 763
正味財産増減計算書	
経常収益計	15, 910, 763
支出の部 合計	16, 131, 325
減価償却費	1, 192, 227
源泉所得税	40, 840
ハイスピードカメラ割賦手数料	98, 508
ハイスピードカメラローン支払	△1, 101, 600
源泉所得税納付	△40, 840
正味財産増減計算書	
経常費用計	16, 320, 460

第 7 期

財 務 諸 表

自：平成27年 4月 1日

至：平成28年 3月31日

〒556-8663

大阪市浪速区湊町 2－1－5 7

サンスポ事業部内

一般社団法人日本ドラゴンボート協会

理事長 櫻井 顕一

貸借対照表

平成 28年 3月 31日 現在

(単位：円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	1,217,713	1,438,275	△220,562
前払費用	131,362	229,870	△98,508
流動資産合計	1,349,075	1,668,145	△319,070
2. 固定資産			
(1) 基本財産			
基本財産合計	0	0	0
(2) 特定資産			
特定資産合計	0	0	0
(3) その他固定資産			
什器備品	1,265,297	2,108,828	△843,531
船舶	433,930	782,626	△348,696
その他固定資産合計	1,699,227	2,891,454	△1,192,227
固定資産合計	1,699,227	2,891,454	△1,192,227
資産合計	3,048,302	4,559,599	△1,511,297
II 負債の部			
1. 流動負債			
未払金	1,468,800	2,570,400	△1,101,600
預り金	9,189	9,189	0
仮受金	100	100	0
流動負債合計	1,478,089	2,579,689	△1,101,600
2. 固定負債			
固定負債合計	0	0	0
負債合計	1,478,089	2,579,689	△1,101,600
III 正味財産の部			
1. 指定正味財産			
2. 一般正味財産			
正味財産合計	1,570,213	1,979,910	△409,697
負債及び正味財産合計	3,048,302	4,559,599	△1,511,297

正味財産増減計算書

平成 27年 4月 1日 から平成 28年 3月 31日 まで

(単位：円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
受取会費			
正会員受取会費	2,895,252	3,884,800	△989,548
受取補助金等			
受取民間助成金	11,697,200	4,336,000	7,361,200
受取負担金			
受取負担金	0	150,000	△150,000
受取寄付金			
受取寄付金	400,000	410,000	△10,000
雑収益			
受取利息	311	158	153
雑収益	918,000	2,439,600	△1,521,600
雑収益計	918,311	2,439,758	△1,521,447
経常収益計	15,910,763	11,220,558	4,690,205
(2) 経常費用			
事業費			
旅費交通費	459,972	138,236	321,736
通信運搬費	121,598	5,320	116,278
減価償却費	1,192,227	1,625,033	△432,806
消耗什器備品費	392,234	35,387	356,847
消耗品費	124,200	337,350	△213,150
修繕費	91,679	111,303	△19,624
印刷製本費	199,800	0	199,800
光熱水料費	287,712	0	287,712
賃借料	223,740	0	223,740
諸謝金	637,000	0	637,000
支払負担金	1,304,144	3,004,438	△1,700,294
委託費	8,967,447	5,378,600	3,588,847
雑費	1,155,814	390,791	765,023
事業費計	15,157,567	11,026,458	4,131,109
管理費			
会議費	5,900	63,616	△57,716
交際費	2,160	2,160	0
通信運搬費	1,560	13,568	△12,008
租税公課	329,200	72,500	256,700
支払負担金	53,160	0	53,160
委託費	385,526	335,000	50,526
雑費	385,387	428,453	△43,066
管理費計	1,162,893	915,297	247,596
経常費用計	16,320,460	11,941,755	4,378,705
評価損益等調整前当期経常増減額	△409,697	△721,197	311,500
当期経常増減額	△409,697	△721,197	311,500
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
税引前当期一般正味財産増減額	△409,697	△721,197	311,500
当期一般正味財産増減額	△409,697	△721,197	311,500

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
一般正味財産期首残高	1,979,910	2,701,107	△721,197
一般正味財産期末残高	1,570,213	1,979,910	△409,697
II 指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	0	0	0
指定正味財産期末残高	0	0	0
III 正味財産期末残高	1,570,213	1,979,910	△409,697

【第3号議案3-2】

監査報告

2015年度の一般社団法人日本ドラゴンボート協会の会計監査、業務監査を行なった結果、決算についてすべて公正妥当であり、適正に処理されています。

会計監査

西川 京子



業務監査

中村 英作



【第4号議案4-1】

2016年度予算

事務局長

2016度一般社団法人日本ドラゴンボート協会予算
(2016年4月1日から2017年3月末まで)

1. 収入の部

収入項目	15年度決算	16年度予算	増減	内訳
1. 会費 (登録料)	1,184,000	1,200,000		個人、団体、都道府県会費
2. 検定料	275,500	300,000		パドル検定
3. 主管料	1,349,784	1,300,000		堺泉北、びわ湖、東京、
4. HDBA HP 広告料	918,311	1,000,000		協会 HP 広告掲載料
5. チーム役員 寄付	400,000	400,000		ハイスピードカメラ寄付金として
6. 日本選手権 ドーピング助成	887,000	900,000		toto 助成金 日本選手大会
7. 日本選手権 運営費助成金	2,520,000	3,000,000		toto 大会助成金
8. 日本選手権 参加料・協賛金	8,376,168	8,500,000		
小計	15,910,763	16,600,000		
前期繰越金	1,438,275	1,217,713		
合計	17,349,038	17,817,713		

2. 支出の部

支出項目	15 年度決算	16 年度予算	増 減	内 訳
1. 会費	123, 160	120, 000		IDBF,ADBF 会費
2. 旅費	79, 392	100, 000		役員交通費
国内旅費	79, 392	100, 000		国内役員
3. 事務所費	1, 203, 073	1, 000, 000		HP管理費等
4. 通信費	39, 390	40, 000		
郵券	39, 390	40, 000		振込手数料
5. 会場借上	0	30, 000		総会会場等
6. 消耗品費	91, 679	100, 000		JDBA ポート
ポート修理費	91, 679	100, 000		修理費
7. 会議費	5, 900	30, 000		
会議費	5, 900	30, 000		
8. 地方協会分配金	621, 835	650, 000		
9. ハイスピードカメラ 購入	1, 101, 600	1,100, 000		27年7月まで
10. 新艇保管料	810, 000	810, 000		5 艇 大 阪 南 港
10. 立替金	0	300, 000		天満宮
11、選手強化費	193, 552	200, 000		世界選手権T シャツ代
12. 日本選手権大 会経費	11, 861, 744	12, 000, 000		
13. 予備費	0	1, 337, 613		
合計	16, 131, 325	17, 817, 713		

01 考資料)JDBA 主催 天神祭奉納 2014年日本ドラゴンボート選手権大会収支明細

1	参加料	@130000×43チーム、@65000×10人漕7チーム	6,045,000
2	協賛金	レンゴー、大阪製紙	1,500,000
3	プログラム広告	ウイズ、フェスタル、大阪音研ほか	500,000
4	助成金	Toto 大会助成金	2,520,000
		Toto ドーピング助成	882,000
	収入合計(税抜)		11,447,000

1	陸上施設費	(株)フェスタル関西	1,600,000
2	海上施設費	広瀬産業海運(株)	2,400,000
3	音響費	大阪音研	460,000
4	陸上シャワー	岡島工業	132,000
5	水上警備	天祥丸	870,000
6	選手・役員昼食用カレー代	橋本商店	392,000
7	氷代	日本氷業、京橋氷店	147,000
8	選手ドリンク代	大阪天満宮、ドリンクデリバリー	93,000
9	スポンサー船体シール代	セイカ・セイリグラフィ	50,000
10	大会プログラム印刷費	サンケイ総合印刷	139,000
11	表彰賞品・来賓シャツ	(株)ウイズコーポレーション、生駒時計店	91,000
12	備品・ライジャケなど運送費	トキワ(株)	144,000
13	大会無線機レンタル	(株)テレコム	80,000
14	水上安全協会年会費	大阪水上安全協会	92,500
15	会場の公園・桟橋使用料	大阪市、大阪水上安全協会	161,000
16	監督会議、役員宿泊費	大阪キャッスルホテル	400,000
17	警備費・ガードマン	テイケイ	225,000
18	ゴミ清掃	甲南サービス	118,000
19	興業中止保険・傷害保険	あいおいニッセイ同和損保	52,000
20	資材運搬レンタカー代	ニッポンレンタカー	42,000
21	司会者・実況	高橋征二、高野勝正の2人	71,000
22	大会安全祈禱料	大阪天満宮	200,000
23	練習会、大会前日弁当代	(株)ニチレク	100,000
24	ボランティア、役員交通費	大阪モッピークラブ、学生バイトほか	545,000
25	大会運営費	サンスポ事業部・収入の25%	2,500,000
26	ODBA主管料打合・交通費	サンスポ事業部	70,000
	支出合計(税抜)		11,804,500

【第5号議案】**2016年度事業計画**

櫻井議長

2016年 JDBA 関連大会日程（予定）**【国内大会】**

5月1日（日）	いさドラゴンカップ2016（鹿児島・伊佐市）
5月8日（日）	第4回宇治川・源平・龍舟祭（京都・宇治市）
5月22日（日）	第13回IDBF世界選手権選考予選会
6月19日（日）	第6回堺泉北港スモールドラゴンボート大会（大阪・高石市）
7月17日（日）	2016天神祭奉納日本国際ドラゴンボート選手権大会（大阪天満橋）
	※第13回IDBF世界選手権最終選考会
7月（日）	第9回豊見城ハーリー大会（沖縄・豊見城市）
8月7日（日）	第9回九頭龍ドラゴンボート大会（福井・福井市）
8月20日（土）	第11回びわ湖ドラゴンキッズ選手権大会（滋賀県）
8月21日（日）	第26回びわこペーロン（滋賀県）
8月28日（日）予定	第13回KIX国際交流ドラゴンボート大会（泉佐野市）
9月18日（日）or10月	東大島ドラゴンボート大会（東京・東大島）
9月25日（日）	第11回びわ湖ドラゴンボート1000m選手権大会（滋賀県）
	第6回ドラゴンボート・グランドシニア大会（滋賀県）
月（日）	中川運河ドラゴンボートレース（愛知・名古屋市）
10月9日予定	第6回静岡県ドラゴンボート大会マグロ祭りツナカップ（静岡・清水）
10月23日（日）	第4回スモールドラゴンボート日本選手権大会（滋賀）

【国際大会】

(2016年)

3月26日－4月1日 第12回ADBFAジアドラゴンボート選手権（オーストラリア/アデレード）

4月1日－4月7日 第10回世界クラブ・クルー選手権大会（オーストラリア・アデレード）

(2017年)

第13回IDBF世界ドラゴンボート選手権大会（中国杭州）

(2018年)

第18回アジア競技大会（インドネシア）

(2021年)5月14日－23日

第10回 KANSAI WORLD MASTERS GAMES 2021

【第 6 号議案】

各専門員会報告

【6-1 評議委員会】

宮村委員長

評議委員会 15 年度事業報

今期早々に京都府ドラゴンボート協会が加盟し地方協会が 12 団体と成りました。→紹介！
日本体育協会に事務局より日本協会及び国際・アジア連盟の組織・活動内容の資料を提出しています。

都道府県の体育協会に加盟している協会は、大阪府ドラゴンボート協会、(一社)滋賀県ドラゴンボート協会

現在の所属協会

東京都ドラゴンボート協会、静岡ドラゴンボート協会、愛知県ドラゴンボート協会、九頭龍(福井県)ドラゴンボート協会、大阪府ドラゴンボート協会、兵庫県ドラゴンボート協会、(一社)滋賀県ドラゴンボート協会、和歌山県ドラゴンボート協会、豊見城(沖縄)龍船協会、福島県ドラゴンボート協会、千葉県ドラゴンボート協会、京都府ドラゴンボート協会（日本協会HP記載順）

評議委員会 16 年度事業計画

各所属協会と情報交換をして大会等で多くのチームが参加できる様に普及委員会と協力していきます。

所属協会が主管等をしていないドラゴンボート大会が有りましたら情報を頂き協会加盟のPRに努めます。

所属協会が各都道府県の体育協会に加盟希望が有れば協力し情報等提供します

各所属協会及びチームの皆様から色々な情報及びご意見を頂きドラゴンボートの発展に努めます、日本体育協会にも加盟活動を引き続き行います

【6-2 国際委員会】

2015 年度活動報告書

- 1) カナダ・ウェランド (Welland)) にて第 12 回世界ドラゴンボート選手権大会 (12th International Dragon Boat Championships) が 8 月 19 日から 23 日まで開催され、日本からはプレミア・オープンとアンダー24 の部で bp、プレミア・ミックスの部で関西龍舟、シニアの部でフジヤマ・オールスターズが参戦しました。プレミアの参加国はカナダ、アメリカ、中国、台湾、タイ、イギリス、ドイツ、オーストラリア、スウェーデン、スイス、プエルトリコ、日本の 12 か国、そしてシニア・ミックスにはカナダ、ドイツ、オーストラリア、アメリカ、イギリス、スウェーデン、日本の 7 か国、シニア・オープンにはカナダ、アメリカ、日本が参戦しました。結果は以下の通りです。

カテゴリー		日本チームのタイム	順位	優勝	タイム
2000m	Standard Premier MIX	10:00.293	11/12	カナダ	8:09.326
	Standard Senior Open	10:05.468	3/3	カナダ	8:13.750
	Standard Premier Open	9:11.131	9/9	カナダ	7:55.406
	Small U24 Open	10:08.190	5/5	タイランド	9:17.008
1000m	Standard Premier Open	4:21.958	9/9	アメリカ	3:53.254
	Standard Premier MIX	4:52.837	6/6	中華台北	3:49.466
	Standard Senior A MIX	4:48.943	3/8	カナダ	4:00.781
	Standard Senior A Open	4:38.127 (3 レース 中ベストタイム)	3/3	カナダ	3:55.323 (3 レース 中ベストタイム)
500m	Standard Premier Open	2:03.000	9/9	タイランド	1:48.847
	Standard Premier MIX	2:18.666	12/12	中国	1:52.168
	Standard Senior A MIX	2:16.309	7/7	カナダ	1:59.373
	Standard Senior A	2:04.959 (3 レース)	3/3	カナダ	1:52.500

	Open	中ベスト)			
	Small U24 Open	2:18.127	6/6	タイランド	2:11.215
200m	Standard Premier Open	47.004	9/9	中国	41.159
	Standard Premier MIX	50.903	12/12	中国	42.690
	Standard Senior A MIX	51.829	6/6	カナダ	45.427
	Standard Senior A Open	49.226 (3レース中 ベストタイム)	3/3	カナダ	43.746 (3レース中ベ ストタイム)
	Small U24 Open	53.326	6/6	タイランド	49.058

この大会で、森永氏はマーシャル（招集）、決勝審判、菖蒲はマーシャル（招集）と全てのポジションの視察を担当しました。

2) IDBF 並びに ADBF に関連する大会ではありませんが、9 月 18 日－19 日にマレーシア・ボルネオ島・サラワク州・クチンにて、「第 3 回サラワク国際ドラゴンボートフェスティバル」が開催され、日本からは「東京龍舟」チームが参戦しました。海外からは香港、台湾、フィリピン、シンガポール、ペナン、クアラルンプール、ブルネイ等のエントリーがあり、サラワク州のローカルチームとの熱戦が展開されました。

3) 6 月にシンガポールで Olympic Council of Asia 主催の South East Asian Games (SEA Games) が開催され、ドラゴンボート競技には、シンガポール、インド、マレーシア、インドネシア、ベトナム、タイランド、カンボジア、ミャンマー、フィリピンの 9 か国がチームを派遣しました。ADBF からの指名で、菖蒲が Asst. Chief Official として大会運営に関わりました。

4) 現在 JDBA 傘下で国際審判資格 (Grade 1 & 2) を保持しているメンバーは約 30 名です。毎年の報告書でお願いしていることですが、ドラゴンボート競技が今後ますます普及する状況下で国際審判の必要度が増えています。国際審判資格を保持しているメンバー、あるいはこれから取得する意欲のあるメンバーは国際委員への登録をお願い致します。

5) 近隣国の国際大会に参加し、世界のドラゴンボート愛好者との交流を持つことは、競技力向上のみならず、個人的にも視野を広げる良き機会だと思います。JDBA 登録のチームはこれらの海外レースに参加出来るチャンスが多くありますので、是非今後はこれらの機会を積極的に利用して海外大会へ参加して欲しいと思います。

分責：国際担当・菖蒲 誠

【6-3 審判委員会】

川北委員長

審判委員会 2015年度活動実績と2016年度活動計画

1. 2015 年度活動計画 vs.実績

★ 活動計画 1. 審判員資格取得の推進と取得後のフォロー

【実績】 ① C級→A級特別昇級認定（JDBA認定）・該当者なし

② C 級→B 級昇級認定（JDBA 認定）・18 名（大阪府協会 2 名、滋賀県協会 16 名）

③ B 級→A 級昇級認定・準拠ルールの見直しに手間取っており、認定作業に至らなかった

④ JDBA HP 審判資格者リストのアップデート

・B 級昇級認定者をリストに追加

・C 級新規取得者をリストに追加

⑤ 審判員制度発足時（2008 年）の C 級取得者に関する情報の確認と修正作業

・新たな情報は入手が出来ず、確認・修正作業は進展しなかった

（参考1）C 級新規取得者（都道府県協会認定）・4 名（東京都協会）

（参考2）審判資格者の級別合計人数（2015 年度末現在）

・上級 24 名、A 級 30 名、B 級 45 名、C 級 109 名、計 208 名

★ 活動計画 2. 審判員資格体系の見直し・改訂・整備

【実績】 公認審判員規定の見直しを行ったが、改定作業は未完に終わった。

作業を 2016 年度に継続する。

★ 活動計画 3. 審判員認定講習会テキストおよび試験問題の改定

【実績】 見直しを行ったが、特に新たな変更や懸案事項がなく、改定・整備は行わなかった

2. 2016 年度活動計画

(1) 審判員資格取得の推進と取得後のフォロー

(2) 公認審判員規定と審判員資格体系の見直し・改訂・整備

(3) 審判員認定講習会テキストおよび試験問題の改定

以上

【6-4 科学技術委員会】

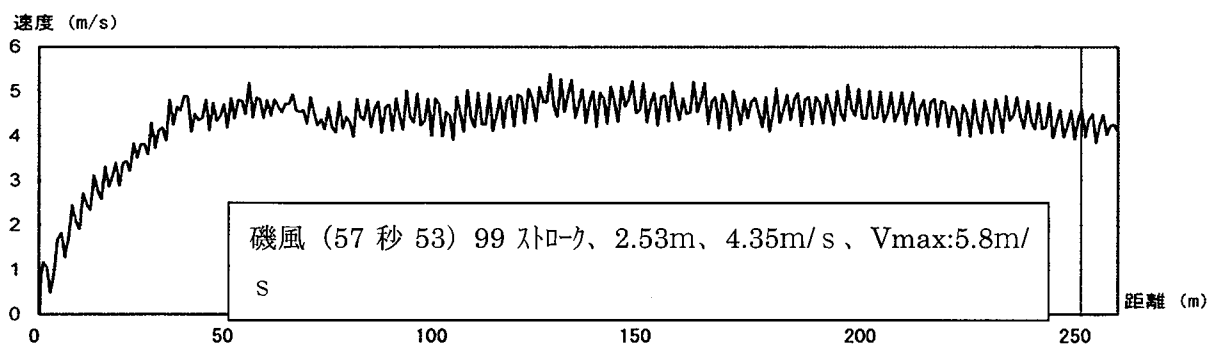
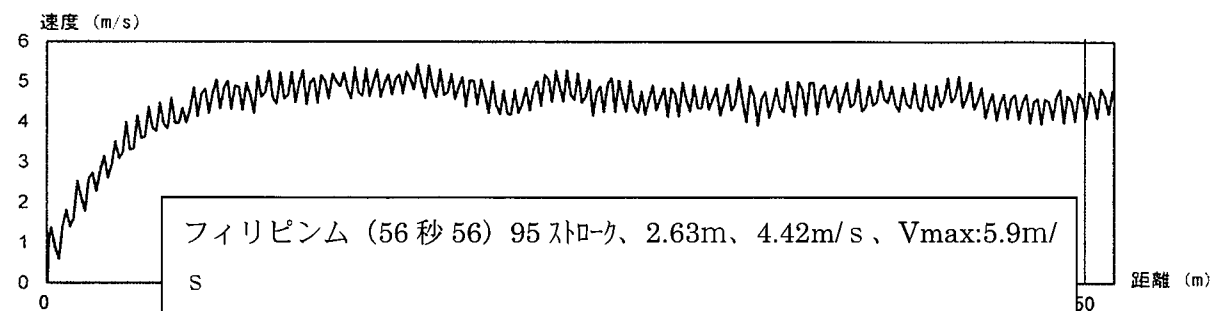
科学研究委員会報告（2015 年度）

報告者：後藤幸弘・田中 譲・灘本雅一

① 日本選手権におけるスピード曲線の記録

定められた距離をいかに早く漕ぎ切ることが運動課題となるドラゴンボートにおいて、速度曲線を記録することは、結果としてのタイムでは把握できない種々の情報が得られる。すなわち、漕走中の速度変化を記録すれば、加速局面、全力漕走局面、速度維持局面の各場面で実態が把握でき各チームの課題を明確にできる。科学研究部では、500m の距離で競われていた 2003 年の日本選手権における 9 区間のラップタイムの測定から、100m 地点で最高速度が得られているが 400m 以降最高速度の 90% に低下がみられ、決勝進出チームにあっても速度維持が課題となることを報告した。また、第 5 回世界選手権における速度経過ならびにピッチ・ストローク長の実態分析から、世界と伍して戦うには、平均速度を 10% 以上高めなければならず、最高速度とともに加速に課題のあることを報告した。

本年度は、2015 年度の日本選手権において、従来のある区間ごとの速度変化ではなく、GPS システムを用いることによってワンストローク毎のより詳細な速度変化を記録した。



科学研究委員会 2016 年度の予定

- ① 2016 年度に引き続き、日本選手権における速度・ピッチ・ストローク長の関係を GPS システムを用いて検討する。なお、協力してもよいというチームがあれば、レース中の心拍数も同時に測定したいと考えている。
- ② 強化委員会と協力し、代表選抜会に参加する選手の身体特性を調査・測定する。

具体的には、ドラゴンボート選手に必要な体力要因の究明、わが国代表選手の体力の実態調査を明らかにしたいと考えている。

③ ドラゴンボート選手の体力トレーニング法の調査研究

2015 年度科学研究部報告 ドラゴンボートレースにおけるスピード曲線の比較

科学研究部：後藤幸弘・田中 譲・灘本雅一

定められた距離をいかに早く漕ぎ切るのが運動課題とドラゴンボートにおいて、速度曲線を記録することは、結果としてのタイムでは把握できない種々の情報が得られる。すなわち、漕走中の速度の変化を記録することにより、加速局面、全力漕走局面、速度維持局面の各場面で実態が把握でき各チームの課題を明確できる。科学研究部では、500m の距離で競われていた 2003 年の日本選手権における 9 区間のラップタイムの測定から、100m 地点で最高速度が得られているが 400 以降最高速度の 90% に低下がみられ、決勝進出チームにあっても速度維持が課題となることを報告した。また、第 5 回世界選手権における速度経過ならびにピッチ・ストローク長の実態について、若干の分析を行い、世界と伍して戦うためには、平均速度を 10% 以上高めなければならず、最高速度課題とともに加速課題のあることを報告した。

今回は、2015 年度の日本選手権において、従来のある区間ごとの平均の速度変化ではなく、GPS システムを用いることによってワンストローク毎のより詳細な速度変化を記録した結果を報告する。

また、高石大会における標準艇を用いての 10 人乗りと 20 人乗りの場合の速度曲線の相違についての事例を報告をする。

1. 測定方法と対象

平成 27 年 7 月 19 日の 2015 日本ドラゴン選手権大会出場チームの一部、ならびに平成 27 年 6 月 21 日行われた第 5 回堺泉北ドラゴンボート大会に出場した常翔喜龍。

測定は、ボートの鼓手の座椅子にフォーアシスト社 GP・Sports を着装し、ボートの距離を 0.4 秒間隔で記録した。

2. 結果

(1) 日本ドラゴンボート選手権大会

表 1 は、優勝したフィリッピンアーミードラゴンボートチーム (56 秒 56)、2 位の磯風漕友会 (57 秒 53)、3 位に入賞した bp (58 秒 56)、ならびに常翔喜龍がそれぞれに最高タイムを出したレースの記録を示している。

トップスリーのチーム最高タイムには、殆ど差は見られなかったが、1 分間当たりの平均ピッチ数は、いずれのチームも 100 回前後であったが磯風が 105.7 回/分で最も高かった。科学研究部では、世界に伍して戦うためにはピッチ数を 100 回/分にし、平均速度を 5.0m/s 以上に高める必要のあることを指摘してきた 2)。日本代表の磯風は、ピッチ数ではこの基準を満たしているのでストローク長を若干大きくできる漕ぎ方の工夫（現在：2.37m）が望まれる。また、磯風の最高速度は、5.8m/s でフィリピンの 5.9m/s に僅かではあるが劣ることが認められた。しかし、この差は加速を除く 70 ストロークに係るとすれば、05 秒のタイム差を生むことになる（ $200\text{m} \div 5.8 = 34.48\text{s}$ 、 $200\text{m} \div 5.9 = 33.90\text{s}$ ）。

ちなみに、決勝の記録はフィリピンが 56 秒 56、磯風漕友会が 57 秒 53、bp が 58 秒 15 で、最高タイムより 4 から 6 秒遅かった。タイムは当日の川の流れや天候に左右されるため、単純に比較することはできないが、順位の高いチームほど低減値が少ないことから、好成績を上げるためには、持久的体力の必要性が示唆される。

図 1 は、上位 3 チームの決勝での速度曲線である。なお、グラフが上下しているのはワンストロークごとの速度の変化を示している。

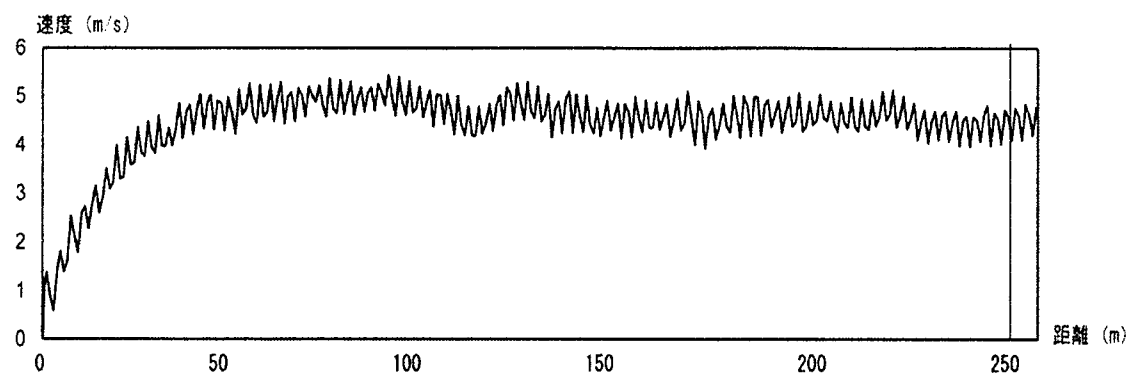
いずれのチームも、50m 付近で加速区間が終わり、以後ゴールまで最高速度を維持している。しかし、1 位のフィリピンは、ワンストローク毎の速度変化が少なく安定した漕ぎができているが、磯風、bp には乱れが見られ、この差がタイムとなって表れたと考えられる。このことは、図 2 の磯風チームが 52 秒 24 でフィリピンに 0.01 秒差で 2 位になったレースの速度曲線パターンからも推定される。

50m までの加速区間のピッチ数は、フィリピンが 17 回、磯風が 18 回、bp が 20 回を示し、フィリピンチームが最も少なかった。

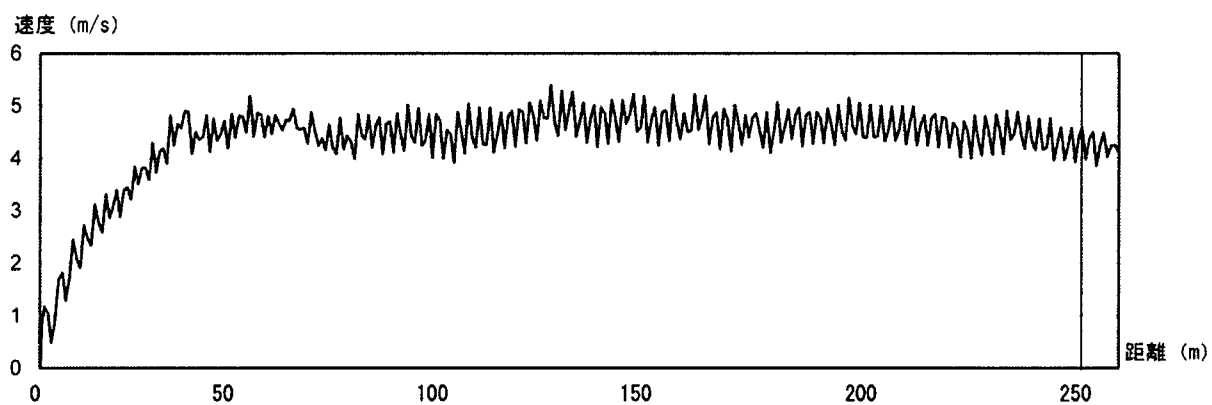
表 1. 日本ドラゴン上位入賞チームの成績とピッチ数、最高速度、平均速度

チーム名	タイム (秒)	ピッチ数 (p/s)	最高速度 (m/s)	平均速度 (m/s)	レース 名	成績
フィリピン	52.23	102.2	5.9	4.8	予選	オープン1位
磯風漕友会	52.24	105.7	5.8	4.8	予選	オープン2位
bp	52.66	98.0	5.9	4.8	準決勝	オープン3位
常翔喜龍	67.66	85.1	4.9	3.8	B 決勝	混合 B 決勝2位

A. フィリピン (56 秒 56) 95 ストローク、2.63m、4.42m/s、Vmax:5.9m/s (予選で)



B. 磯風 (57 秒 53) 99 ストローク、2.53m、4.35 m/s、Vmax: 5.8 m/s (予選で)



C. bp (58 秒 15)

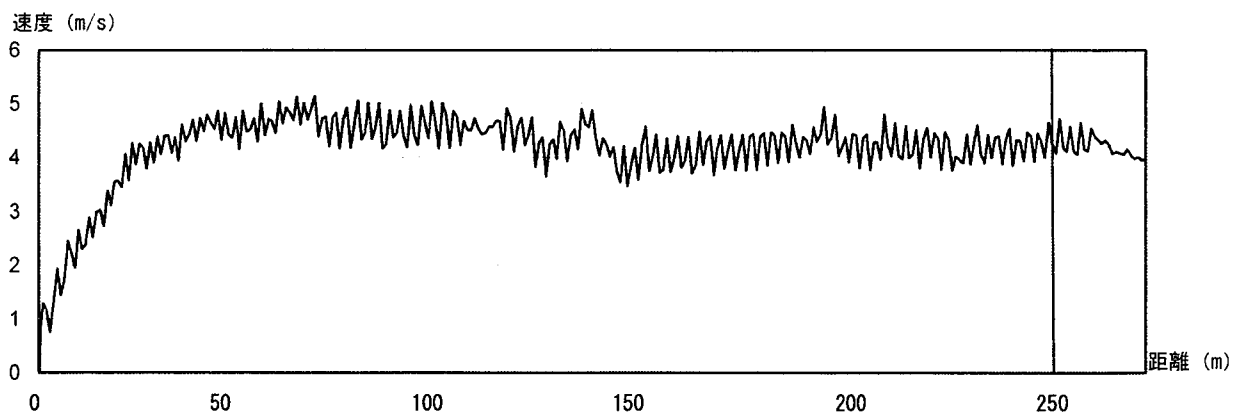
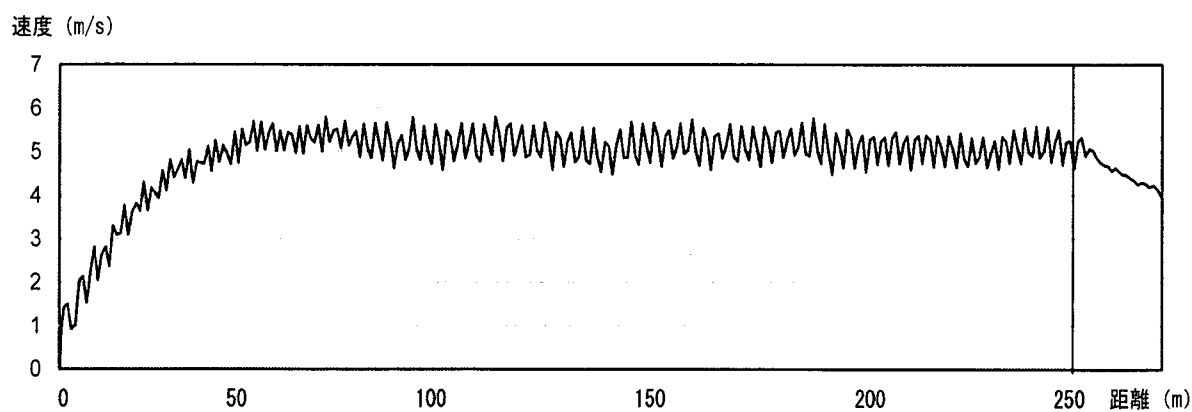


図 1. オープン決勝における上位 3 チームの速度曲線



(2) 堺泉北ドラゴンボート大会

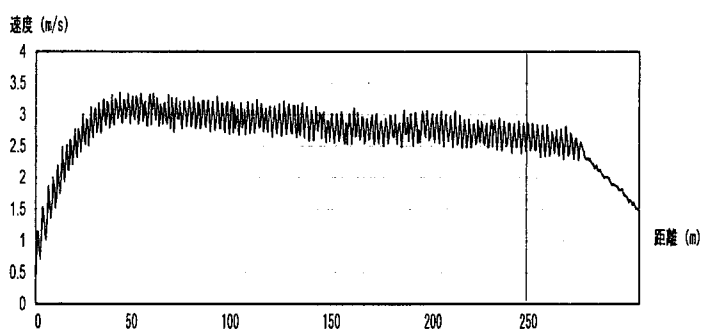
図3は、泉北大会の250mの10人乗りレースと500mの20人乗りにおける常翔喜龍(男女混合)の速度曲線である。

いずれのレースも50メートルまでの加速区間のストローク数は20回であった。その後、10人乗りでゴールの250mまでで108回、20人乗りでは95回、500mまで187回であった。ゴールタイムは10人乗りで1分26秒45、20人乗りで2分35秒72であった。10人レースでは、全体でストローク毎の速度変化にはばらつきはほとんど見られなかったが、20人乗りではばらつきが認められ、250m以降に顕著に見られた。このことには、距離の長さとパドラーの増加によるストローク動作の一致度の相違がワンストローク毎の速度曲線を不安定にさせた要因と考えられた。

ちなみに、日本選手権での常翔喜龍の記録1分08秒50(20人)と比較すると、10人乗り記録は125%に相当した。すなわち、標準艇を10人で漕いだ場合は、20人の場合よりも20%程度、記録の低下することが認められた。

速度は10人乗りでは50mで約3m/sに達し、その後はほぼ等速を示すが、150mあたりから漸減傾向を示し、ゴールでは2.5m/sを若干下回った(速度維持率:83%)。一方、20人乗りでは50mで約3.5m/sと10人乗りを上回り、150mから漸減傾向を示したが、250m

A. 10人艇 (250m 1分26秒45)



B. 20人艇 (500m 2分35秒72)

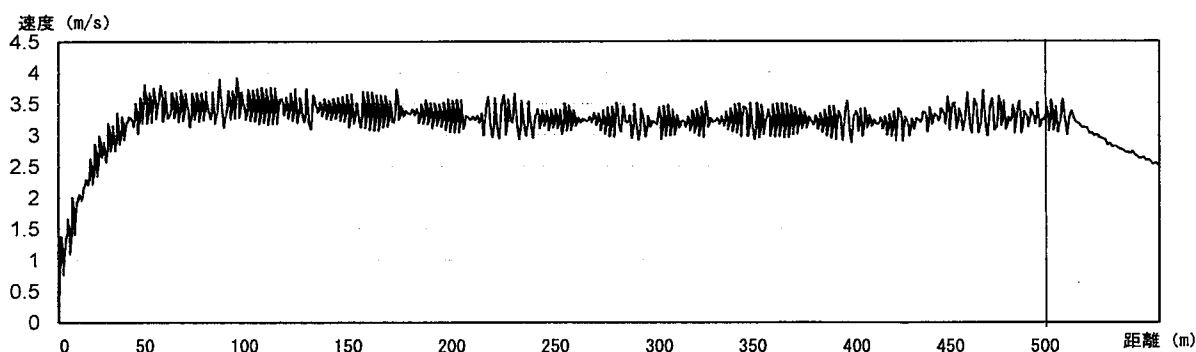


図3. 泉北大会(標準艇)の10人乗りと20人乗りのスピード曲線

以後はゴールまで約 3.3m/s の等速を維持していた（速度維持率：94%）。すなわち、速度維持に関しては、20 人乗り方が距離の影響が少なかった。最高速度では日本選手権の 4.9m/s の 62.5%に相当した。

泉北は静水、日本ドラゴンは流水という地理的条件が異なるため、単純には比較できないが、速度曲線の変化から判断して、250m の距離での 10 人乗りレースは、20 人乗りの 250m と同様の傾向がみられた。したがって、標準艇を用いての 10 乗りレースにも競技としての意義があると考えられる。

まとめ

- ① 日本選手権上位入賞チーム 1 分間当たりの平均ピッチ数は 100 回以上であった。また、これらのチームは、ピッチ数をあげながらもストローク長を落とさない漕ぎ方ができていた。
- ② 日本代表の磯風には、最高速度を高めることとピッチを落とすことなくストローク長を大きくする漕法の工夫に課題があると考えられた。
- ③ 標準艇を用いての 250m の距離での 10 人乗りレースは、20 人乗りの 250m と最高速度、ゴールタイムでそれぞれ 20%前後の低下がみられるが、速度曲線の変化は同様の傾向を示した。したがって、標準艇を用いての 10 乗りレースにも競技としての意義があると考えられた。

文献

- ・ 越智祐光、後藤幸弘、奥野暢通、矢田節彦（2006）ドラゴンボートレースの速度ならびにピッチ・ストローク長について、大阪体育学研究、44、67-77.
- ・ 越智祐光、丸山宣武、奥野暢通、後藤幸弘（2008）ドラゴンボートレースにおける経過、ならびにピッチ・ストローク長について-第5回世界選手権を対象として-、大阪体育学研究、46、37-48.
- ・ 後藤幸弘、越智祐光（2009）ドラゴンボートの筋電図的研究-自由漕・ピッチ漕・ストローク層の比較から-、日本ドラゴンボート協会科学研究部報告書、1-3.

【6-5 普及広報委員会】

普及広報委員会 2015 年度総括と 2016 年度活動方針

合田委員長

■ 2015 年度 報告

Facebook：ページに対する「いいね」の数 860 件⇒1095 件、アクセス分析：男性 67%、女性 33%、国別：日本 816、香港 92、マレーシア 38、リーチ（既読者数）：日本選手権当日のリーチが 1 日で 7500 を超えており、コンテンツ量やタイムリーな情報発信がユーザーの関心を高めている事が分かる。

国際委員との連携で、海外チームの問い合わせの対応。海外選手から日本渡航中のドラゴンボーターとの交流

WEB サイト：ページビュー261,230、セッション 80,889、ユーザー40,777

（注）ページビュー：ページが表示された回数

セッション：Web サイトに訪問したユーザーの訪問回数（延べ人数）

ユーザー：セッションのうち再来を除いたユーザー数（延べを含まない人数）

天神大会：アクションカメラを利用、リアルタイムでの組合せ&結果配信

体験乗船会の申込：年間 7 件

大会アルバムのアップ：第 5 回静岡県ドラゴンボート大会ツナカップ（静岡・清水） 405 枚、中川運河ドラゴンボートレース大会 148 枚、第 3 回スモールドラゴンボート日本選手権大会 377 枚、第 12 回 KIX 国際交流ドラゴンボート大会 276 枚、第 2 回大阪南港 ATC ドラゴンボート大会 338 枚、2015 日本ドラゴンボート選手権 394 枚、第 5 回堺泉北ドラゴンボート大会 276 枚、第 3 回宇治川・源平・龍舟祭 320 枚、合計 8 大会 合計 2,534 枚

その他：選抜チームの IT フォロー ・チャットワークの立ち上げ ・個人情報申込フォーム作成

■ 2016 年度 方針

Facebook：継続的な情報発信

天神大会での活動：アクションカメラ、リアルタイムでの組合せ&結果配信

選抜チームの広報活動：ネーミングの公募、専用ブログの立ち上げ

体験乗船会の申込：Facebook などでも配信、体験乗船会開催している案内（のぼり・シャツ など）

Line クリエーターズスタンプ（案）：一般公募で制作、大会で紙を配布し作って欲しいスタンプを手書きしてもらう

大会アルバムのアップ：各大会（金子委員）

各チーム責任者に一括広報：イベント案内の広報お手伝い、どこがどんなイベントをやっているのか見える化、Facebook・メールなどで配信、掲載のご依頼募集

【6-6 法制営業委員会】

平成 27 年度報告及び 28 年度事業計画案

利波委員長

■コーポレートゲームズ アジアパシフィック 2015 にてドラゴンボートレースを開催

2014 年より始まったコーポレートゲームズは、企業、グループのチームビルディングを競い、交流を図る 新しいタイプのスポーツゲームです。東京を中心に、全国の企業から参加チームが集うイベントとして注目されました。

26 年度の総会時に、この事業の経過を述べたところ、競技委員長の長谷川氏より、ドラゴンボートの 関東エリアでの認知促進に繋がるとの見解により、年明けに実行員会にプレゼン。

予算面などの折衝、会場選定など 2 点 3 点ありましたが、11 月 15 日 16 日豊洲のららぽーと前 特設コースにて開催することができました。

東京大会で出場実績のあるチームや初出場のチームもあり、またショッピングモール来場者に対する ドラゴンボートのレース披露と、認知促進の課題をまずはクリアにできた大会であった。

また、副産物として、大会 2 か月前に初心者講習会を勝どきマリーナにて開催。

実行委員会、参加者より、初心者マニュアルについて問い合わせあり、これまでは、体験型の講習会は 実施されたものの、資料マニュアルが存在せず、事務局長、普及委員会合田氏、東京教会の役員の

意見など取り入れ、初心者マニュアル 初版を制作することができました。

今後も当委員会、普及委員会と連携し、マニュアルの更新、競技人口の拡大、ひいては、ドラゴンボートの認知促進に努めて参りたいと存じます。

なお次年度のコーポレートゲームズ開催については、28 年度の計画内で所感いたします。

■関西ワールドマスタースゲームズ 2021 について

組織委員会と様々なやり取りの中、8 月に各競技団体及び自治体に開催種目についてヒアリング

調査あり。現状、京都 2 エリア（京丹後、宇治市）、滋賀（琵琶湖）がドラゴンボート開催誘致に手を挙げた模様。様々な競技団体が名乗りを上げる中、ドラゴンボート開催誘致に、3 自治体が名乗りを上げたことは正式種目になる追い風になり、2016 年秋（10 月予定）に種目決定に向けて更なる活動を行うものです。

■コーポレートゲームズ 2016 の開催について

実行委員会より、2015 の大会に続いての開催について打診あるが、予算面（ボートの輸送費問題）から

豊洲会場から東大島会場案に変更し、3月に提案。しかしながら、予算面の折り合いつかず、現状保留状態。

実行委員会が、英国本部に予算を提出したところ、日本での開催において、イベント制作会社と契約しての ドラゴンボート開催は不可との見解、また予算も本部が示したもので、協会と契約するよう申し出。

ビジネス上の契約などあり、谷事務局長、長谷川競技委員長とも相談。

現状利波が折衝をするが、本年度開催の目処はついていません。（時期は11月5日、6日）

■関西ワールドマスタースゲームズの状況

今年の秋（10月ごろ）、開催種目及び該当自治体の内定の案内あり。それを受けて、国際協会（IMGA）に申し送り、来年2月までに回答ある模様。余程の事情がない限り大きな変更はないかと思いますが、競技内容についての確認などあるかもしれません。ついては、2017年4月にニュージーランド・オークランド大会が開催されます。

オークランド大会の URL

<http://www.worldmastersgames2017.co.nz/>

関西 WMG

<http://www.wmg2021.jp/>

オークランドでは、ドラゴンボートも初開催されます。

協会として、次回開催に向けての視察や、チームへの案内などなどの予定を組むなど、ご検討いただければ

幸い。

以上

【第7号議案 7-1】 15 年度ハイスピードカメラ購入寄付者・団体
(順不同)

事務局長

No	氏名・団体名	金額
1	東京都ドラゴンボート協会様	30,000円
2	前嶋 清様	10,000円
3	村野 智子様	20,000円
4	bp 様	30,000円
5	木村 一郎様	20,000円
6	矢田 節彦様	30,000円
7	IHI瑞龍丸様	30,000円
8	(一社)滋賀県ドラゴンボート協会様	30,000円
9	櫻井 顕一様	20,000円
10	後藤 幸弘様	20,000円
11	チーム未来様	30,000円
12	原田 直己様	30,000円
13	大阪府ドラゴンボート協会様	30,000円
14	竹末 佳紀様	20,000円
15	チーム河童様	30,000円
16	谷 達也	20,000円
17、	東京龍舟	60,000円
合計		460,000円

※本年度がハイスピードカメラご寄付最終年ですので、引き続きご協力をお願いいたします。

【第7号議案 7-2】 第13回IDBF世界ドラゴンボート選手権選考会ポイント

競技委員長

2017年中国・杭州で開催予定の第13回IDBF世界ドラゴンボート選手権の代表選考を東京大会、日本選手権大会の2大会で、また、スモール代表をびわこスモール選手権で行います。

ポイントは以下の通り。

- ・東京大会予選会 1位：5ポイント 2位：2.5ポイント 3位：1ポイント
- ・日本選手権最終選考 1位：10ポイント 2位：5ポイント 3位：2ポイント

(例)

予選会	3位	3位	3位	2位	2位	2位	1位	1位	1位
point	1	1	1	2.5	2.5	2.5	5	5	5
日本選手権	1位	2位	3位	1位	2位	3位	1位	2位	3位
point	10	5	2	10	5	2	10	5	2
合計 point	11	6	3	12.5	7.5	4.5	15	10	7

※同ポイント場合は日本選手権での成績を上位とする

※育成種目の女子、シニアについては、自己責任で重複乗艇可。決勝戦での舵取り派遣可。女子は太鼓、舵取りは男子可。但し、レース進行では配慮しない。

【第7号議案 7-3】 日本代表選抜決定について

強化委員会

- ・兵庫県相生市他
- ・選抜選手等
- ・日本選手権での海外チームとの「特別レース」について

【第7号議案 7-4】 その他

2016 年 J D B A 理事会

□平成 28 年 5 月 28 日（大阪キャッスルホテル）

□理事会（午前 10 時）

理事 13 人中過半数 10 人出席（櫻井、菖蒲、後藤、長谷川、江畑、宮村、谷、合田、鎌田
山岡、）

- ・ 1 号議案：事業報告

- ・ 2 号議案：決算報告

滋賀県協会に分配金を支払う。

- ・ 3 号議案：業務監査

P 8 の減価償却費 11,922,227→1,192,227 に修正。

- ・ 5 号議案：事業計画

東大島大会は 10 月 2 日開催。2018 年アジア競技会に関して、今秋カヌー連盟と会合
KIX 大会の開催については、赤字補填のリスクを関空と調整する。

- ・ 第 6 号議案

国際審判講習会を来年東京で開催したいが、経費は受益者負担。

科学技術：従来は 50m 毎の平均速度。今回は GPS で測定。相生で決定した日本代表チ
ームと科学技術委員会とで今後連携する。チームレベルだけでなく個人でも速度測定
を行っていく。

- ・ 第 7 号議案

東京大会

オープン 1 位 bp 5 P、

混合 1 位関西龍舟シバ 5 P、2 位東京龍舟 2.5P

ニア 1 位東京龍舟マスタース、2 位関西龍舟 KALD

日本代表選手：今秋・相生で 1 泊 2 日の強化合宿。

□総会（午後２時）

会員 96 人中、委任含め 67 人出席

- ・ 1 号議案：事業報告
- ・ 2 号議案：決算報告
- ・ 3 号議案：業務監査（承認事項）

 P 8 の減価償却費 11,922,227→1,192,227 に修正。

 →賛成多数

- ・ 5 号議案：事業計画

 →東大島大会は 10 月 2 日に開催。

- ・ 6 号議案：各専門委員会報告

- ・ 7 号議案：

 ハイスピードカメラ寄付者報告

 東京大会ポイントについて

 日本代表選抜について

 東京「海の森」の今後の展開について

JDBA 日本代表候補の現状と今後の展望

去る4月23日（土）～24日（日）に第1回JDBA日本代表選抜大会を兵庫県は相生市の相生コスモマリーナで開催させて頂きました。最終的に一次試験には男子62名、女子24名が臨みました。一人漕ぎの個人測定を実施した結果、上位男子50名、女子22名が選出され、次日の2次予選の全体漕ぎに進みました。そして、全体漕ぎの総合審査の結果、先日、JDBA協会HPに男子32名、女子24名のJDBA日本代表候補者を発表させて頂きました。

男子選抜に関しましてはROWING KING 10という仮称号で総合評価での左右トップ5とBEST ROWING FIGHTER MEN 22という仮称号での22名を区別して発表させて頂きました。これは過去の国際大会派遣（日本オリンピック委員会 以下JOC）を顧みると10人艇での派遣も考えられ、その事を踏まえての区別としました。また、同時に選抜候補選手内での競争意識の向上も区別した理由の一つでもあります。女子に関しましては10人艇での派遣の可能性が最も高いと推測しています。

第1回JDBA日本代表選抜大会を振り返って

- ① 想像以上に風と潮位に左右された選手が多くありました。
 - ② 計測されたデータの収集の整理、報告に大変時間を要してしまいました。
- 以上2点が今後の課題検討すべき事項としてあがりました。

今後のJDBA日本代表選手候補の展望

- (1) 本年度の秋に2日間で国内強化合宿を実施します。
 - ※1日目に男子JDBA日本代表選抜大会とBEST ROWING FIGHTER MEN 22との入れ替え戦を実施します。女子はROWING FIGHTER WOMEN 16の中での入れ替え戦を実施します。
 - ※2日目は基本的には男子ROWING KING 10、及び女子ROWING FIGHTER WOMEN 10に絞って強化合宿を実施します。
- (2) 来年度の春（本年度と同時期）に第2回JDBA日本代表選抜大会を実施します。
 - ※本年度の秋に決定したROWING KING 10はトライアウトへの参加はしてもらいますが参加することで合格とします。
- (3) 来年度は海外での国際大会への参加を試みたいと思います。
- (4) 日本代表の太鼓と舵取りに関しては候補選手内で選抜か或いは過去の実績を踏まえて選抜するか。
- (5) JDBA日本代表のネーミングを募集します。（JDBA 普及委員会）